

(傍線の部分は改正部分)

改正案	現行
<p>昇降機の定期検査報告における検査及び定期点検における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表を定める件</p> <p>建築基準法施行規則(昭和二十五年建設省令第四十号。以下「施行規則」という。)(第六条第二項及び第三項並びに第六条の二第三項の規定に基づき、同条第三項に規定する昇降機(以下単に「昇降機」という。)(以下「法」という。)(第十二条第三項に規定する検査(以下「定期検査」という。))及び同条第四項に規定する点検(以下「定期点検」という。))の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表を次のように定める。</p> <p>第一 定期検査及び定期点検は、施行規則第六条第二項及び第六条の二第三項の規定に基づき、次の各号に掲げる別表第一から第十までの(イ)欄に掲げる項目(ただし、定期点検においては損傷、腐食、その他の劣化状況に係るものに限る。)(ニ)に及び、同表(三)欄に掲げる事項ごとに定める同表(ハ)欄に掲げる方法により実施し、その結果が同表(ニ)欄に掲げる基準に該当しているかどうかを判定することとする。ただし、特定行政庁が規則により施行規則第六条第二項又は第六条の二第三項に掲げる検査若しくは点検の項目、事項、方法又は結果の判定基準について定める場合(検査若しくは点検の項目若しくは事項について削除し又は検査若しくは点検の方法若しくは結果の判定基準について、より緩やかな条件を定める場合を除く。)(にあつては、当該規則の定めるところによるものとする。</p> <p>一(十) (略)</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、法第六十八条の二十六第一項に規定する</p>	<p>昇降機の定期検査報告における検査の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表を定める件</p> <p>建築基準法施行規則(昭和二十五年建設省令第四十号。以下「施行規則」という。)(第六条第二項及び第三項の規定に基づき、同条第三項に規定する昇降機(以下単に「昇降機」という。)(以下「法」という。)(第十二条第三項に規定する検査(以下「定期検査」という。))の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表を次のように定める。</p> <p>第一 定期検査は、施行規則第六条第二項の規定に基づき、次の各号に掲げる別表第一から第十までの(イ)欄に掲げる項目(ニ)に及び、同表(三)欄に掲げる事項ごとに定める同表(ハ)欄に掲げる方法により実施し、その結果が同表(ニ)欄に掲げる基準に該当しているかどうかを判定することとする。ただし、特定行政庁が規則により施行規則第六条第二項に掲げる検査の項目、事項、方法又は結果の判定基準について定める場合(検査の項目若しくは事項について削除し又は検査の方法若しくは結果の判定基準について、より緩やかな条件を定める場合を除く。)(にあつては、当該規則の定めるところによるものとする。</p> <p>一(十) (略)</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、法第六十八条の二十六第一項に規定する</p>

認定を受けた構造方法等を用いた昇降機で、当該認定に係る同条第二項に定める評価（以下単に「評価」という。）を行ったときに検査の方法を記載した図書の提出を受けたものに係る定期検査及び定期点検については、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める図書に記載された検査の方法によるものとする。

一～三（略）

第二（略）

附則

この告示は、平成二十年四月一日から施行する。

認定を受けた構造方法等を用いた昇降機で、当該認定に係る同条第二項に定める評価（以下単に「評価」という。）を行ったときに検査の方法を記載した図書の提出を受けたものに係る定期検査については、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める図書に記載された検査の方法によるものとする。

一～三（略）

第二（略）

附則

この告示は、平成二十年四月一日から施行する。